

他校の工夫学び合う

エネジン共同
高校生ブログ
伊東商生ら成果発表



作成したブログの発表をする生徒＝浜松市のエネジン本社

県内でLPガス事業などを展開する総合エネルギー会社「エネジン」(本社・浜松市、藤田源右衛門社長)はこのほど、県内の高校生と協力して作ったブログの発表会を行った。ブログを作成した県立伊東商業高と県立浜松湖北高の生徒たちは互いの発表を通じて、活動の改善や工夫すべき点を学んだ。

伊商の生徒は観光施設、飲食店などを訪れ取材してまとめた。湖北の生徒は企業を訪れ見学、仕事体験をした。両校が観光、企業の異なる視点から発表し、生徒は地域の良さや、類似点、相違点などを学習した。県立伊東高の生徒も参加し、伊東市の概要や特徴を発表した。

伊商3年の大木志穂さんは「湖北の発表は聞いていて楽しかった。企業がどういう思いでどういった仕事しているのか、とても良く理解できた」、島崎智也君は「クイズ形式の発表、スライドの作り方が勉強になった。自分たちの発表も資料の背景に色を付ければ良かった」と感想を話した。